

## 発表⑧



### 「モ・日母語教科書読解における設問方法の比較」

D. OYUNGEREL

モンゴル国立大学 法学部 日本法教育研究センター  
東京外国語大学国際日本研究センター



松岡 縁

AYUMI 日本語学校、ERKHEM BAYAN ERDEM 学校

### 1. はじめに

モンゴル国内では、日本語学習者の多様化と幅広い教育機関での日本語教育の実施により、日本語能力試験受験者も増えつつある。2015～2016年に学習者層が最も多い<sup>i</sup> 初中等教育におけるモンゴル人学習者向けにモンゴル日本語教育スタンダード準拠教科書『できるモン レベル 1・2・3』（上・下）が開発された。しかしながらモンゴル人日本語学習者は上級レベルになっても言語知識や・聴解に比べ読解力が弱い<sup>ii</sup>ため、その読解の基本的な知識と機能の習得とその応用を学習する教材が求められている。

そこで、本稿では、まず、モンゴルの旧と現行学習指導要領における読むことを把握し、次に日本とモンゴルの小学校国語教育における現行学習指導要領における「読むスキル」と教科書における読解の設問方法を比較し、モンゴル語話者の読解力を上げる読解設問方法を探ることを目的とする。

日本語能力試験の読解は「内容理解」「統合理解」「主張理解」「情報検索」の問題が出題される。しかし、漢字、文法など言語知識や文章の長さや文章のパターンについて戦略や解き方などがあっても読解ができるとは限らない。つまり、読解力には文字通りに読んで理解するだけでなく、文中に書かれていないことの推測、行間を読み取る能力も求められる。

一方、国語教育においてはPISA型読解力とは自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力<sup>ii</sup>と定義されている。つまり、読解力には文字通りに読んで理解するほか、熟考・判断・表現する能力も含まれている。

### 2. 調査の対象と方法

対象とした教科書は日本国小学校1～6年国語教科書12冊、モンゴル国小学校2～5年モンゴル語教科書4冊の計16冊である。

比較は小学校で読まれる読解教材の設問を集計し、読む目的別に大別化し、その中の種類と割合を算出し、相違を考察しする方法で行った。

### 3. 結果と考察

目的別に大きく【内容把握】、【発展設問】、【読み方】、【文法】のグループに大別化した。

グループ内の設問の種類：

【内容把握】に関する設問—①読み取り：事柄の順番、時間の順番、行動・行為の列挙、②推測：言動の推測、心境の推測、場面の想像、③展開の予想、④区別：事実と筆者意見の関係、⑤比較：類似探し、相違探し、⑥理由原因探し、⑦順序：変化の順序、行為・行動の順序、⑦スキミング：キーワード探し、発言探し、⑧登場人物になったつもりでの言語・行動を考える、⑨表現の意味理解：比喩など

【発展設問】：感想・印象、文中と現実との結び付けて考える・比較する、未知と既知の区別、添削、情報収集など

【文法・構成】に関する設問：正書法、品詞活用など。

【読み方】に関する設問：音読、朗読、暗記、鑑賞、演技など

日本とモンゴルの読解設問の類似点：

両者における設問の割合：【内容把握】>【発展設問】>【文法設問】、【読み方】

一設問に複数の課題文がある。例：「内容理解」+「発展設問」+「読み方」

【内容把握】に関する設問の種類が最も多い。

日本とモンゴルの読解設問の相違点：モンゴル語の読解設問に【文法】に関する設問がある一方、日本にはほとんど見られない。両者に音読・朗読・演技など【読み方】に関する設問がある一方、モンゴル語の読解設問に暗記させる設問があるのはモンゴルのみである。

【発展設問】における違い：モンゴルは間違いや文章の添削をさせる。日本は課題遂行のために生の情報を収集させる。読解教材のジャンルは両者ともにおいて文学的な文章の割合が説明的な文章より大きかった。

## 5. 終わりに

以上、日本とモンゴルの新学習指導要領に基づく小学校国語教科書における読解設問を比較調査した。その結果、内容把握に関する設問が最も多く、読み取った内容や知見を次のことに活かす【発展設問】が次ぐことが明らかになった。そのほか、モンゴルは受容的な読み方から主体的なとらえ方へ変わりつつあること、文章のジャンルに説明的な文章が加わっている、読解設問が【文法】型から【内容把握】【発展】設問型になっていることが明らかになった。

## 参考文献

- 1) 「小学校学習指導要領」文部科学省（平成20年3月）  
「小学校学習指導要領解説 国語編」文部科学省（平成20年8月）
- 3) Бага боловсролын сургалтын цөм хөтөлбөр, БШУЯ, Улаанбаатар, 2014
- 4) Монгол хэлний сургалтын цөм хэрэгжүүлэх зөвлөмж, БШУЯ, Улаанбаатар, 2014

<sup>1</sup> 国際交流基金 2012年度日本語教育機関調査結果

<sup>ii</sup> 文部科学省「読解力向上プログラム」(平成17年)

## ◆質疑応答

**Q1(澤知子 ウランバートル市立大学)：**日本の教科書は問題が元々分類されているのだが、モンゴルの教科書はカテゴリー別に分かれているのか？

**A1(D.オユングレル 名古屋大学日本法研究センター)：**文法に関する項目、導入の項目は別に設けられていた。しかし、教材を読ませて、内容を聞くかなと思いきや、そこに出てきた言葉活用に関する設問になっているものもあった。それがここで言っている文法に関する設問というふうに扱っています。

**コメント(奥泉香 日本体育大学)：**しっかりと調べられて、比較もしてあるので非常に興味深く伺った。実際に教科書の設問を作る立場から考えて、さらに次の段階の研究の参考になればというふうに思ったことが一つある。今、読解設問を集計して、そして分類しているんですね。私たちが教科書の設問を作るときにどんな順番で、何種類の設問を組み合わせると私たちの求めている読解力が付くかなあという風に考えている。つまり、一問ずつ考えているというよりはいくつかの設問の束で考えている。それをさらにどんな順番で聞こうかなという順序も考えている。つまり、発問とか設問は構造はなしで機能しているので、その組み合わせとか順番とか、設問相互の構造を比較して検討すると、とても勉強になるかなと思う。是非、今後も期待して拝見したいと思いますし、ご交流お願いします。